



1日(金) 開校記念日講演会……旅行業界で活躍されている先輩が来校！



今年は、串高卒業生で、現在は「あい旅」株式会社代表取締役としてご活躍の田畑瞳さんにお話ししていただきました。演題は「行きたいをつくる仕事～地域に根ざす旅行会社の役割～」。約1時間の講演の前半は、修学旅行ができるまでのプロセスを、エピソードやスライドを交えて紹介。大変さとなり合わせで、充実感・やり甲斐を感じてお仕事をされていることが伝わってきました。

後半は講師と串高生とのセッション。吹上浜フィールドホテル支配人の富宿さんからホテルの紹介があったあと、ステージの生徒代表者たちが、さらにどんな付加価値をつけていったらよいか？というテーマで、いろんなアイデアを出しました。生徒からの質問もたくさん出ました。特に1年生！臆することなく、手が挙がっていました。元気があります。

田畑さん、富宿さんによると、生徒たちのアイデアをもとに商品化を検討していきたいとのことでした。「串高生の考えた宿泊プラン」……楽しみです。以下、生徒感想を紹介します。

- 2年以上かけて修学旅行が準備されていることを知って、感謝の気持ちがあった。
- 田畑さんの話と串木野学はどちらも地域に根ざすコンセプト。とても素敵で共感した。
- 私も今できることを考え、地域の人を笑顔にさせるような活動をしていきたい。
- 当たり前の裏側で、当たり前となるよう努力する人がいると気づかされ、はっとした。

14日(木) 情報リテラシー講演会、PTA総会、学級・学年PTAがありました

昨日はご出会いただきありがとうございました。PTA総会前に開催した鹿児島国際大学准教授 辻慎一郎先生の講演は、単にスマホの使い方という枠には収まらない、まさに生徒たちがこれからの時代をいかに生きていくかというスケールの大きいお話でした。AIの時代だからこそ、受動的な「消費者」から能動的な「創造者」へ。自分の意図を言語化する力が必要です。

講演後、辻先生からは、串高生の将来が楽しみとのコメントもいただきました。以下は、昨日の生徒の振り返りをNotebookbookLMでまとめたものとして、いただいた資料です。

講演を通した大きな気づき

- KEY\_FINDING: AIの可能性と限界を正しく知る

便利なツールである反面、間違いや偏りがあることを理解し、AIとの適切な距離感をつかむことが重要。

- KEY\_FINDING: 「消費者」から「創造者・投資家」へ

消費者

創造者・投資家

スマホやAIを単なる娯楽（消費）として使うのではなく、自分の未来を創るための「投資」として捉える。

明日から実践するアクション

- PROCESS\_STEP: 情報を鵜呑みにせず「自分の頭」で考える

AI says ✓

AIの回答をそのまま使うのではなく、最後は自分が判断・決定。人間力を磨こう。

- EXAMPLE: プロンプトを工夫し「良き相棒」にする
- SUPPORTING\_FACT: スマホ利用時間を「有意義」に再定義

質問の仕方の工夫することでAIの精度は高まる。

何となく眺める時間を減らし、将来に向けた活動に充てる。